

戎光祥出版 10 月刊行の新刊

シリーズ・織豊大名の研究 第 12 卷

宇喜多秀家

岡山県の郷土本
コーナーにもぜひ！

天下人・豊臣秀吉に重用され、関ヶ原の戦いでは西軍の主力として戦った宇喜多家最後の当主・秀家。

本書では、豊臣政権における政治・権力・城郭・家臣団などについて指摘した重要論考10本を収録。宇喜多氏研究において、今後欠かすことのできない論文集。

【目次】

総論 宇喜多秀家研究の現在地 森脇崇文

第1部 豊臣政権と宇喜多氏

- I 織豊政権と宇喜多氏 朝尾直弘
- II 漢城（朝鮮国首都）における宇喜多秀家 しらが康義
- III 宇喜多騒動の再検討
——『鹿苑日録』慶長五年正月八日条の解釈をめぐって 石畑匡基

第2部 秀家期宇喜多氏の権力構造

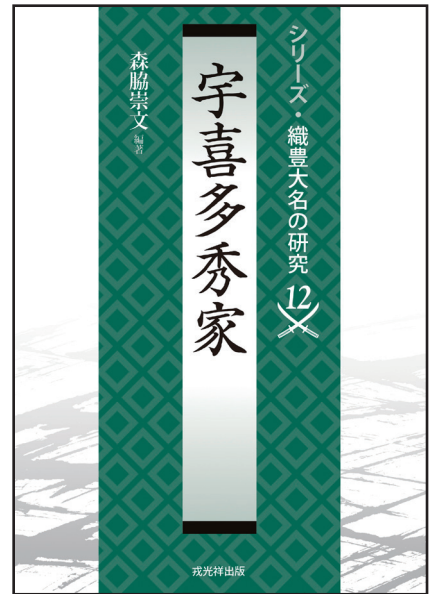
- I 宇喜多氏城郭群の瓦と石垣——岡山城支城群の諸段階 乗岡 実
- II 豊臣期大名権力の変革過程——備前宇喜多氏の事例から 森脇崇文
- III 文禄・慶長期における宇喜多氏家臣団の構造
——分限帳の分析から見る重臣層の負担 寺尾克成
- IV 宇喜多氏分限帳編成の意図——秀家の新権力基盤の形成 寺尾克成

第3部 秀家を取り巻く人々の素描

- I 年欠三月四日付け羽柴秀吉書状をめぐって
——書状とその関係史料を再読して 森 俊弘
- II 本太城主「能勢修理」のこと 畑 和良
- III 流人宇喜多秀家の随行者をめぐって
——村田助六の検討を中心に 大西泰正

第4部 宇喜多秀家文書の研究

- I 秀家文書の基礎的考察 森脇崇文
- II 宇喜多秀家文書目録 森脇崇文編



森脇崇文 編著

A5 判 / 並製 / 380 頁

本体価格：7000 円＋税

10 月上旬刊行予定

ジャンル 人文書、日本史

ご注文はどちらまで

FAX 03-5275-3365

注文書	帳合・貴書店名印	フリー入帖
	冊	シリーズ・織豊大名の研究 12 宇喜多秀家 ISBN 978-4-86403-545-3 7000 円（本体） 森脇崇文 編著

戎光祥出版株式会社 東京都千代田区麴町 1-7 相互半蔵門ビル 8F

TEL03-5275-3361/FAX03-5275-3365